かがわマラソン
KAGAWA MARATHON

令和7年9月30日(火)
かがわマラソン実行委員会事務局
(交流推進部交流推進課マラソン準備室)
担 当 者:川西・真鍋(内線:3644)
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ:087-832-3867

かがわマラソンコースが
日本陸上競技連盟の「公認」を取得しました！

令和7年9月7日(日)にかがわマラソンコースの検定※1を実施しました。9月29日(月)に日本陸上競技連盟よりコース検定の合格通知が届き、マラソンコースとして「公認※2」を取得いたしました。

また、検定の結果、下記の箇所においてコース調整を実施しました。確定したコース図及び調整箇所については、別添1―1，1－2をご参照ください。

なお、検定の様子については、別添2を参照ください。(別添2についてはかがわマラソン公式 HP にも掲載します)

※1…検定とは、日本陸上競技連盟から派遣される計測員によるコースの計測作業のこと。
マラソンコースの計測はワイヤーでの計測方法と自転車での計測方法がありますが、かがわマラソンコースは近年主流である自転車計測による計測を実施しました。

※2…公認とは、競技会を実施するコース〔正確には長距離競走(歩)路〕や競技場が、日本陸上競技連盟が定める規則に合致していることを示すもの。

検定後のコース調整箇所について

(調整箇所1)

調整前:県道 176 号線を北上→郷東町交差点を左折ののち、折り返して県道 33 号線を東進

調整後:県道 176 号線を北上→郷東町交差点を右折して県道 33 号線を東進

(調整箇所2)

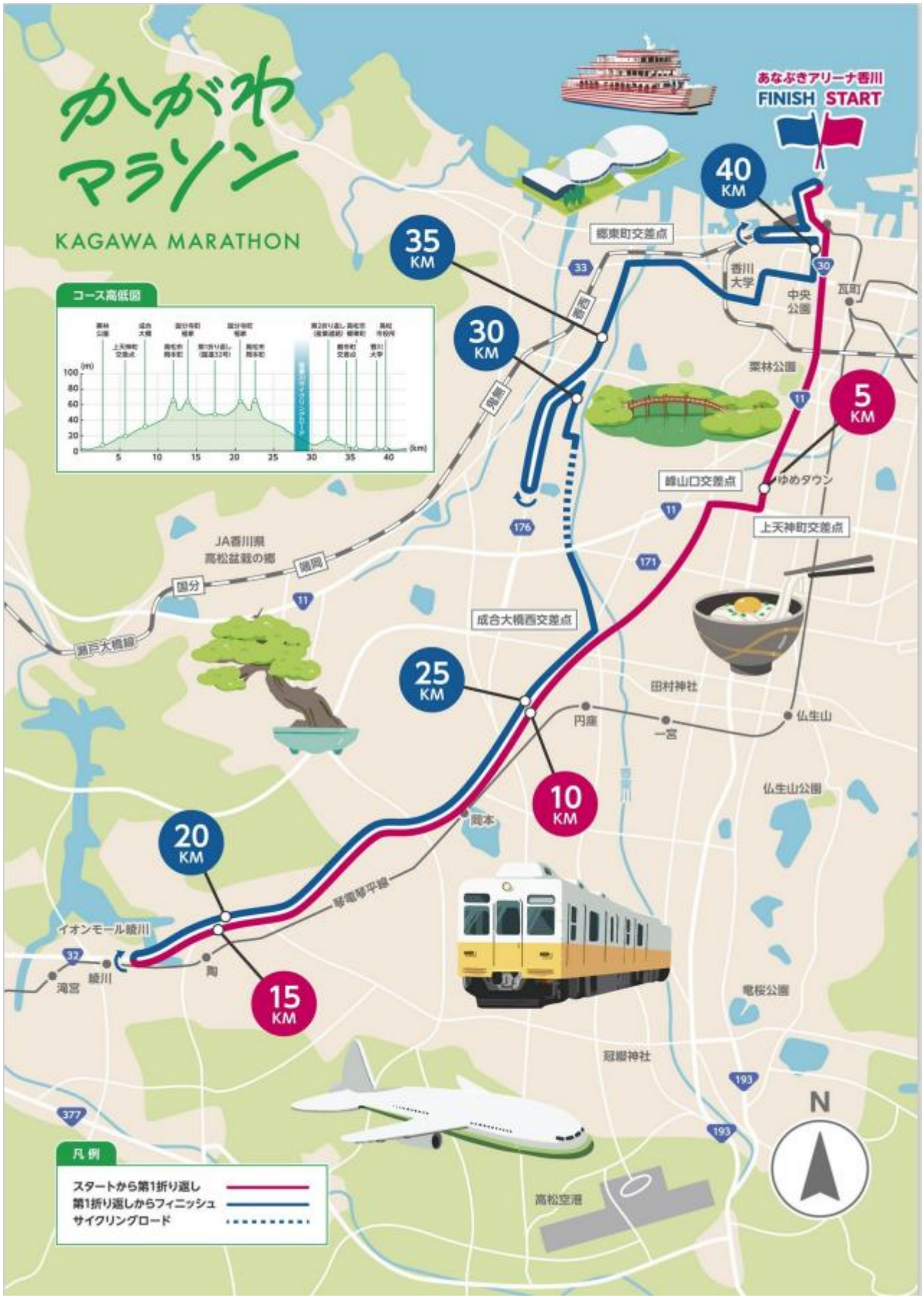
調整前:県道 176 号線の折り返し地点を光明寺西側の交差点内に設置

調整後:県道 176 号線の折り返し地点を南定木集会所東側の交差点内に設置

今後の予定について

・10月6日(月)正午　かがわマラソン　一般枠等のランナー募集開始

別添1―1　調整後のコース図



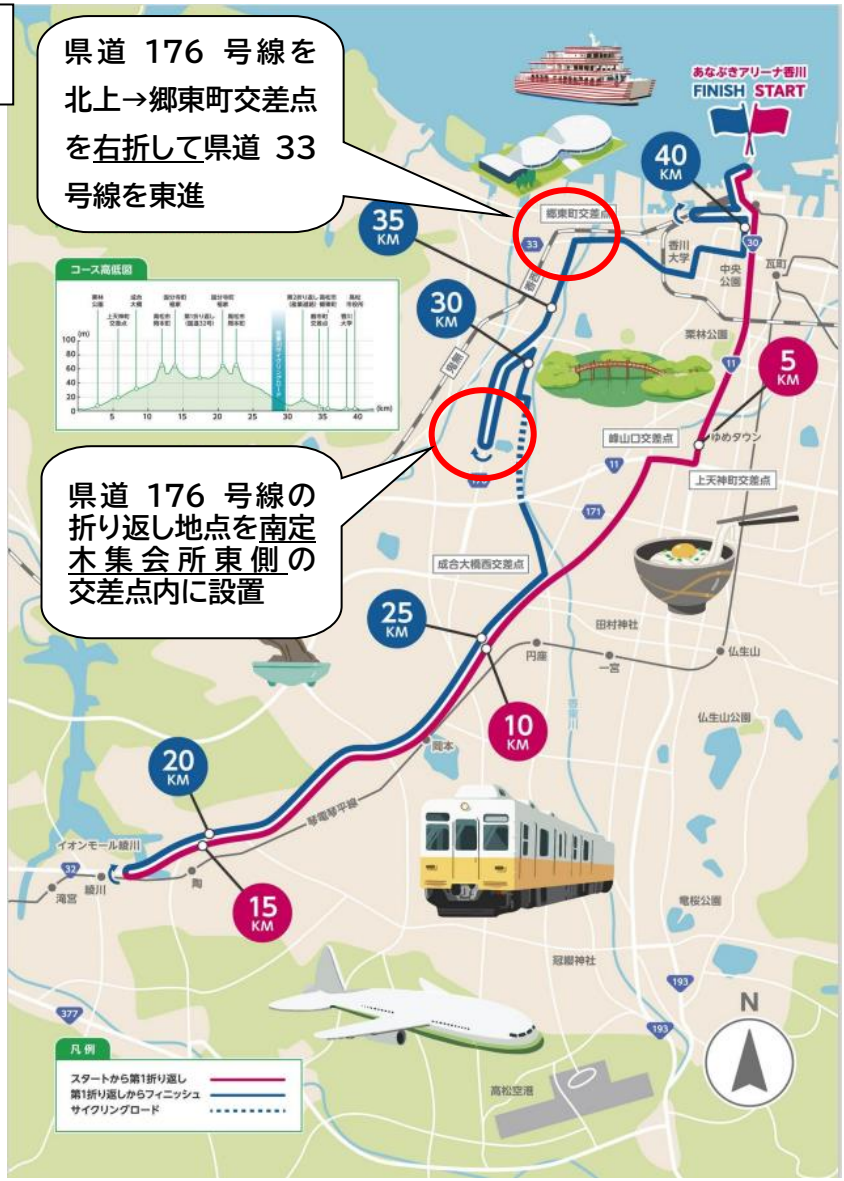
別添1―2　調整前と調整後のコース図比較

調整前

調整後

県道 176 号線を北上→郷東町交差点を右折して県道 33 号線を東進

県道 176 号線の折り返し地点を南定木集会所東側の交差点内に設置



別添2

かがわマラソンのコースが公認されました！

9月 24 日(水)に行われた日本陸上競技連盟施設用器具委員会会議において、かがわマラソンコースが日本陸上競技連盟の「公認」取得を認められました。コース公認や検定の様子について、ご紹介します。

コースの「検定」とは？

マラソンコースはじめ、日本陸上競技連盟が公認記録として定める距離のコース(長距離競走路)が、距離や勾配など、競技規則で定められた条件を満たすことを確認する作業のことを「検定」といいます。公認されていないコースでの記録は日本陸上競技連盟の公認記録とはなりません。

マラソンコース「公認」の条件とは？

どのようなコースであれば「公認」となるのかは、日本陸上競技連盟の競技規則及び「長距離競走路ならびに競歩路公認に関する細則」によって定められています。一例をあげると…

①標準距離の道路競走においてはスタートとフィニッシュの2点間の直線の距離は、そのレースの全距離の 50 %以下とする。

②標準距離の道路競走においては、スタートとフィニッシュ地点の 2 点間の標高の減少は全体として 1,000 分の 1(0.1%)を超えないものとする。

というものがあります。①の「スタートとフィニッシュの2点間の距離(セパレーション)」と、②の「スタートとフィニッシュの2点間の高低差(エレベーション)」の規則については、スタートからフィニッシュまでずっと下り坂が続くようなコースを防ぎ、競技の公平性を保つために設定されているそうです。

検定の様子をご紹介します！

9月7日(日)に、日本陸上競技連盟から3名の計測員にお越しいただき、コース検定(計測作業)を実施しました。コースの計測方法には、ワイヤー計測と自転車計測がありますが、かがわマラソンのコースの計測は、近年主流である自転車計測によって行われました。自転車の前輪に専用の計測器(ジョーンズカウンター)を装着して実際にコースを走行し、その回転数を計算して正確な距離を測定します。

計測の準備：カリブレーション

コース計測の前には、「カリブレーション」という重要な手順があります。カリブレーションとは、自転車計測のいわば「正確なものさしづくり」です。カリブレーションは、直線 400m のコースを正確に作ることから始まります。カリブレーションに使うのは一般的なナイロン製のメジャーではなく、鋼鉄製の「検定用メジャー」という精密なメジャーです。まず、巻き取られた状態の 50m メジャーをすべて伸ばし、その日の気温に応じて算出された力で 30 分間メジャーを引っ張り、まっすぐで正確な 50m を作ります。そして 50m ずつを計測しながら移動し、直線のカリブレーションコースを作ります。

かがわマラソン KAGAWA MARATHON

カリブレーションコースの直線の計測をする日本陸上競技連盟の計測員の方々。
事務局でも一緒にメジャーを運ばせていただいたり、準備のサポートをさせていただいたりして、初めて見るカリブレーションに立ち会わせていただき、貴重な経験となりました。

正確な 400m ができたら、コース計測に出発する直前に、カウンターを付けた自転車で直線を往復し、「何回転で 400m」という基準を確定させます。(プレカリブレーション)

計測は交通量の少ない深夜から開始しました。プレカリブレーションの時は辺り一面真っ暗です。ライトでコースを照らし、誘導棒の灯りを頼りに計測員のみなさんは自転車を走らせます。自転車計測員のみなさんは暗い中でも、自転車の直進が全くブレません！すごい技術です！

コースを走行し終えると、自転車のカウンターの回転数を記録して、再びコースを走り記録して…という作業を何度も繰り返し、「正確なものさし」を作ります。ちなみに自転車計測員の方々が乗る自転車はご自分で調整・準備されるのですが、このカリブレーションの前に、タイヤの空気圧や各パーツを隅々まで点検し、試走してまた調整という作業をなさっています。すさまじいプロ意識です！！

このプレカリブレーションが完了してはじめて、コースの計測に移ります。

いよいよ計測へ

自転車計測員のみなさんが、コースとなる道路の、ランナーが走ることのできる「最短距離」を計測します。自転車の前後を車両で守りながら、安全に計測していただきました。(※香川県警察・道路管理者の許可を受け、指導のもと実施しています。)

3名の計測員は、先導する車両に追従して、それぞれの間隔を保ちながら隊列となって走行します。前輪がぐらぐらすると連動してカウンターが動き、距離が不正確になってしまうので、常に前輪を安定させて運転しなければならないそうです。自転車を発進させる時や上り坂などは安定を保つのが大変なのだそうですが、計測員のみなさまの熟練した技術によって、終始安定した自転車走行で計測していただきました。計測の隊列に遭遇された一般ドライバーのみなさまにはご迷惑をおかけしましたが、安全な計測へのご協力、ありがとうございました。

3名の計測員のうち1名の方は、9月6日に TBS 系で放送された「ジョブチューン SP」の中でも登場した、なんと国内に2名しかいない A 級自転車計測員の方！オリンピックや世界選手権のコース計測は A 級の方がいなければ成り立ちません。かがわマラソンコースの計測をしていただき大変光栄です。もう2名の方々もお忙しい中、快くかがわマラソンコースの計測をお引き受けいただきました。丁寧・細やかなアドバイスをいただき、無事計測作業を終えることができたのも、3名の計測員のみなさまのおかげです。ありがとうございました。

コースをすべて測り終えたら、もう一度カリブレーションコースでのカウンター確認作業を行い、「正確なものさし」に異状がないかを確認します。（ポストカリブレーション）

プレカリブレーションの時は真っ暗でしたが、計測が終わるともう明るくなっていました。ポストカリブレーションも異状なしで、計測は無事終了です。この後、場所を移動して3名の計測員の方々の結果を集計して、かがわマラソンコースが間違いなく 42.195km あるという結果となりました。

検定、無事終了です！

このように、かがわマラソンのコース検定（計測）は行われました。9月上旬のまだまだ暑い深夜から早朝にかけて自転車計測いただいた計測員の方々、安全に実施するためにサポートいただいた警備員、協力会社スタッフのみなさま、実施のための準備にご協力いただいた香川陸上競技協会、香川県警察や各道路管理者のみなさま、本当にありがとうございました。多くの方々のご尽力、ご協力のおかげで、かがわマラソンコースができあがっております。

10月6日（月）正午～かがわマラソン一般枠（先着）等の エントリー開始です！

いよいよ、10 月6日（月）正午より、かがわマラソン一般枠（先着）の募集開始です。一般枠として 7,200 人、海外在住者枠として 300 人、ふるさと納税枠として計 500 人の募集です。全国のみなさま！日本陸上競技連盟公認のかがわマラソンコースを、ぜひ走りにお越しください。
また、同日・同時刻より高松ファンラン約3kmの部で、一般枠200人、ファミリー100 組（200人）の募集が、約1kmの部で一般枠100人の募集も開始されます。

かがわマラソン KAGAWA MARATHON